

令和6年度 動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査結果

(令和7年3月31日現在)

1 犬及び猫の寄生虫調査

- (1) 検体採取期間 令和6年4月から令和7年3月まで
- (2) 対象及び規模 ①犬6頭(延べ検体数6)、猫44頭(延べ検体数72)の糞便
②犬6頭、猫10頭の心臓及び消化管
- (3) 方法 ①直接塗沫法及び飽和食塩水浮遊法による糞便中の虫卵の同定
②解剖検査による心腔内及び消化管内における虫体確認と同定
※動物愛護相談センターで虫卵及び虫体の同定が困難な場合は、健康安全研究センター微生物部病原細菌研究科寄生虫研究室に同定の協力を依頼する。

(4) 結果

① 糞便検査 (虫卵)

対象 (延べ検体数)	陽性頭数	内 訳		
		回虫	イソス ^o ラ属	条虫(エキノコックス含む)
犬6頭 (6検体)	0	0	0	0
猫44頭 (72検体)	2	1	0	瓜実条虫1

② 解剖検査 (虫体)

すべての個体で虫体は検出されなかった。

2 犬及び猫の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)ウイルス遺伝子モニタリング調査

- (1) 検体採取期間 令和6年4月から令和7年3月まで
- (2) 対象及び規模 犬及び猫の口腔拭い液 犬3頭、猫66頭
- (3) 方法 リアルタイムPCR法によるウイルス遺伝子の検出
- (4) 検査機関 健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科
- (5) 結果 すべての検体で SFTS ウイルス遺伝子は検出されなかった。

3 犬及び猫の寄生虫調査における過去の調査結果

平成10年度、同15年度、同26年度、令和元年度及び同6年度に実施した解剖検査による犬及び猫の寄生虫調査結果は、下表のとおりである。

(1) 犬における寄生虫調査結果

年度	検査頭数	陽性頭数(%)	内訳(頭数(%))				
			犬糸状虫	回虫	鉤虫	鞭虫	条虫 (エキノコックス含む)
H10	111	51(45.9)	35(31.5)	3(2.7)	7(6.3)	15(13.5)	瓜実条虫 8(7.2)
H15	120	42(35.0)	35(29.2)	0	0	5(4.2)	瓜実条虫 7(5.8)
H26	19	5(26.3)	5(26.3)	0	0	1(5.3)	0
R1	9	0	0	0	0	0	0
R6	6	0	0	0	0	0	0

(2) 猫における寄生虫調査結果

年度	検査頭数	陽性頭数(%)	内訳(頭数(%))				
			犬糸状虫	回虫	鉤虫	胃虫	条虫 (エキノコックス含む)
H10	114	51(44.7)	1(0.9)	20(17.5)	2(1.8)	1(0.9)	瓜実条虫 42(36.8)
H15	111	35(31.5)	0	11(9.9)	1(0.9)	0	瓜実条虫 26(23.4) 猫条虫 1(0.9)
H26	86	30(34.9)	0	12(14.0)	0	0	瓜実条虫 19(22.1)
R1	18	3(16.7)	0	2(11.1)	0	0	瓜実条虫 1(5.6)
R6	10	0	0	0	0	0	0